

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 多治見市

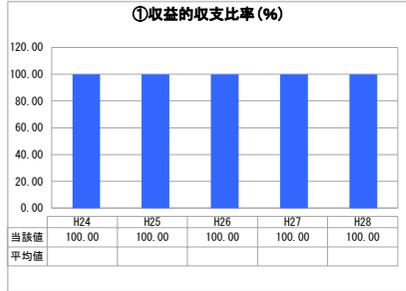
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 0.13 | 81.39 | 3,672 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 112,786 | 91.25 | 1,236.01 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 142 | 0.17 | 835.29 |

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



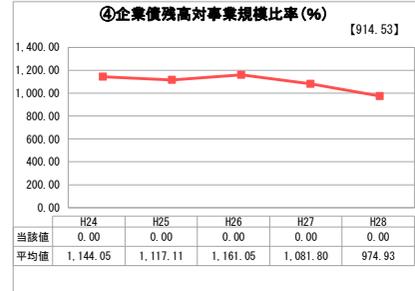
「単年度の収支」



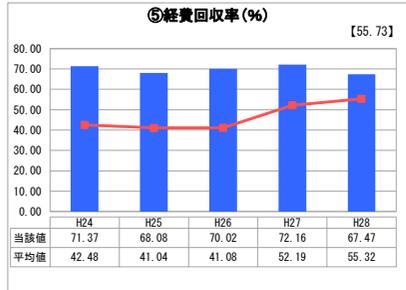
「累積欠損」



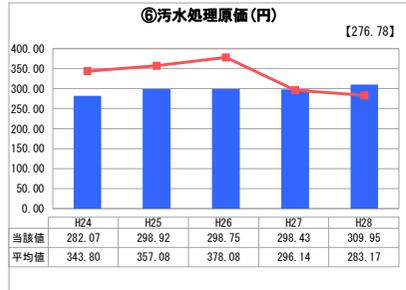
「支払能力」



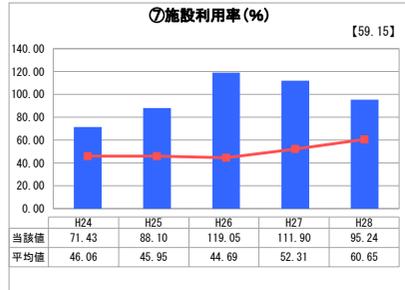
「債務残高」



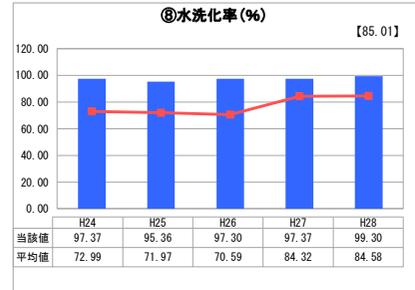
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

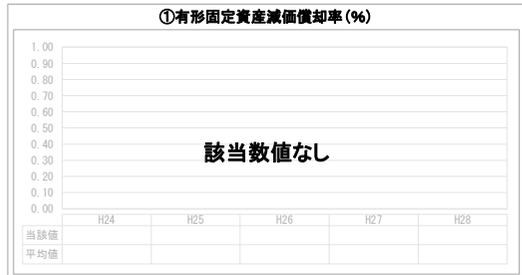


「施設の効率性」

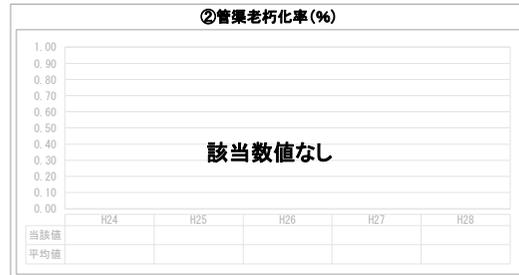


「使用料対象の捕捉」

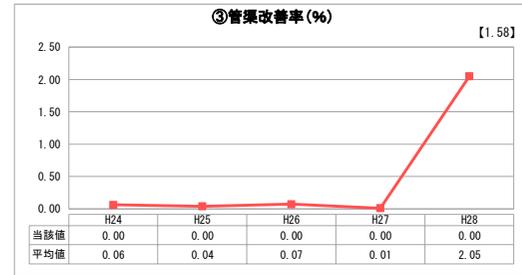
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%、経費回収率はほぼ横ばい。施設利用率、水洗化率共に高い値で推移しており、効率的で、適切な汚水処理が行われていると言える。しかし、使用料収入について、平成28年度は前年度に比べ減少しており、これがわずかではあるが経費回収率が低下した要因と考えられる。現在のところ、国の繰入金に基づく一般会計からの繰入金と使用料収入等では収支均衡を図ることが困難なため、維持管理費へ基準外として繰り入れを行っている。今後は人口減少や節水傾向等による使用料収入の減収が予測され、繰入金の増額が見込まれることから、下水道使用料と合わせて定期的な見直しを行うこととしている。

2. 老朽化の状況について

平成12年度からの新しい施設であり、現在のところ更新事業は行っていない。日常の点検や部品交換等、計画的な維持管理・修繕を行い、経費の平準化を図っている。

全体総括

事業規模が小さく、事業の開始から比較的年数が浅いこと、また新たな設備投資も無いことから、収入面・支出面共に変動が少なく、安定した経営状況である。平成28年度に経営戦略を策定し、平成31年度からは地方公営企業法を適用することとしており、より正確な経営・資産状況を把握した上で、収支のバランスを見つつ、健全な事業運営の在り方について検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。